

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第4号

乗山 悟	アルチャタの「綱領偈」解釈 — <i>Hetubinduṭīkā</i> 研究 (2)(pp. 6-11,3)—..... (1)
原田和宗	<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問 (IV) ... (22)
那須円照	得・非得に代わる種子の理論..... (67)
岡本健資	クナーラ王子の物語 — <i>Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa</i> 試訳 (1)—..... (78)
那須円照	アビダルマ研究ノート (103)

1999 年

インド哲学研究会

執筆者紹介

乗山 悟	龍谷大学文学部非常勤講師
原田和宗	龍谷大学文学部非常勤講師
那須円照	龍谷大学文学部非常勤講師
岡本健資	龍谷大学大学院博士課程

編集後記

本号には、4 本の研究論文と 1 本の研究ノートが掲載された。本誌に初めて寄稿された岡本健資君は、龍谷大学大学院博士課程3回生であり、アヴァダーナに関する研究を数本すでに発表している。

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号と入手冊数を編集者の神子上恵生までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてお知らせいたします。費用は、各号いずれも 1310 円(送料 310 円込)となっております。

バックナンバーのご案内

第 1 号

< 掲 載 論 文 >

- 神子上恵生 唯識学派による外界対象の考察(2)
—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章
外界対象の考察—
- 若原雄昭 仏教徒のジャイナ教批判(2)
—Tattvasaṃgraha(-pañjikā), Syādvādaparīkṣā 研究—
- 藤田祥道 『五百頌般若経』について
—試訳(承前)—
- 那須円照 有部の形実有論と経量部の形非実有論(上)
- 原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という 概念への疑問 (I)

第 2 号

< 掲 載 論 文 >

- 藤田祥道 クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論
—『大乘莊嚴経論』第一章第七偈の一考察—
- 原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問 (II)
- 那須円照 アビダルマの極微論(2)
—極微が触れるか触れないかという問題を中心として—
- 神子上恵生 唯識学派による外界対象の考察(1)
—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章
外界対象の考察—

第 3 号

< 掲 載 論 文 >

- 藤田祥道 仏語の定義をめぐる考察
岩本明美 『大乘莊嚴經論』第13章「修行章」
—サンスクリットテキストと和訳—
原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問 (III)
乗山 悟 アルチャタの「推論の解明」
—*Hetubinduṭīkā* 研究 (1)(pp. 1-5)

インド学チベット学研究 4

1999 年 10 月発行

編集者 神子上恵生

発行者 インド哲学研究会
(代表者 神子上恵生)

[Association for the Study of
Indian Philosophy]

〒600-8128 京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
神子上(生)研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES
RYUKOKU UNIVERSITY
SHICHIJO OMIYA,
KYOTO 600-8128 JAPAN

e-mail: mikogami@let.ryukoku.ac.jp

郵便振替 00900-6-309785

電話 (075) 343-3311 (大代表)

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

No. 4, 1999

CONTENTS

Satoru NORIYAMA, Arcata, On the Opening Verse —An Annotated Translation of <i>Hetubinduṭīkā</i> (2)(pp. 6-11, 3) —	(1)
Waso HARADA, Some questions on the concept of “Der „einschichtiger” Erkenntnis-strom der Sautrāntikas” (IV)	(22)
Ensho NASU, The Theory of Bija as a Substitute of "Prāpti" and "Aprāpti"	(67)
Kensuke OKAMOTO, A Japanese Translation of the Tibetan Text of <i>Kunālavādāna</i> (1)	(78)
Ensho NASU, Notes on Abhidharma Studies	(103)

Editor

Esho Mikogami

Association for the Study of Indian Philosophy
Kyoto, Japan